



大作曲家10代、20代の作品を集めて



*** フログラム ***

今日は大作曲家達が若き10代、20代に残した名曲、佳曲の数々をお聴きいただきます。メンデルスゾーンの八重奏曲は僅か16才で書き上げた作品で第3楽章のスケルツォは特に有名です。18才の頃に書かれたと言われるシューベルトの魔王はゲーテの詩による歌曲の名作。リヒャルト・シュトラウス22才の作品、“イタリアから”はイタリアに旅行した時の印象をまとめた表題音楽で、第4楽章にはナポリ民謡“フニクリ・フニクラ”のメロディーが引用されています。グリーグ25才のピアノ協奏曲は作曲者の代表作であるばかりでなく、このジャンルの名曲のひとつです。ラヴェル24才の時の“亡き王女のためのパヴァーヌ”も、小品ながら優雅で美しい名曲。チャイコフスキー最初の交響曲は26才の作品ですが、民謡風の旋律と力強い躍動感の後期の交響曲には見られない魅力です。

フェリックス・メンデルスゾーン (1809~1847) :

弦楽八重奏曲変ホ長調 *op.20* ~ 第1楽章から、第3楽章、第4楽章から

ヤン・ウク・キム (ヴァイオリン) / 古澤 巖 (ヴァイオリン) / 漆原啓子 (ヴァイオリン) / 松原勝也 (ヴァイオリン) / 今井信子 (ヴィオラ) / 豊嶋泰嗣 (ヴィオラ) / ヨーヨー・マ (チェロ) / 堤 剛 (チェロ)
(1989.11.12 サントリーホールLive)

フランツ・シューベルト (1797~1828) :

歌曲“魔王”

ジェシー・ノーマン (ソプラノ) / ジェフリー・パーソンズ (ピアノ)
(1987.6.16 ホーネエムスのシューベルティアード音楽祭Live フィリップス盤)

リスト編曲版 ヘルマン・プライ (バリトン) / ホルスト・シュタイン指揮NHK交響楽団
(1993.11.6 NHKホールLive)

リヒャルト・シュトラウス (1864~1949) :

交響的幻想曲“イタリアから” *op.16* ~

1.カンバーニャにてから 3.ソレントの海岸にてから 4.ナポリ人の生活

リッカルド・ムーティ指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(1989.1.17 ベルリン、フィルハーモニーホールLive)

*** 休憩 ***

エドヴァルド・グリーグ (1843~1907) :

ピアノ協奏曲イ短調 *op.16* ~ 第1楽章から、第2楽章から、第3楽章

レイフ・オーヴェ・アンズネス (ピアノ)
ネーメ・ヤルヴィ指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(1992.2.17 ベルリン、シャウシュピールハウスLive)

モーリス・ラヴェル (1875~1937) :

亡き王女のためのパヴァーヌ (原曲はピアノ曲)

小澤征爾指揮フランス国立管弦楽団
(2007.10.4 パリ、シャンゼリゼ劇場Live)

ピョートル・チャイコフスキー (1840~1893) :

交響曲第1番ト短調“冬の日の幻想” *op.13* ~ 第1楽章、第2楽章、第4楽章抜粋

小澤征爾指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(1992.9.14 ベルリン・フィルハーモニーホールLive)